

第5章 付録

5. 1 ND-75XL使用上の注意事項

ND-75XL 使用上の注意事項

1 MS-DOSのPRINTコマンドによる注意。

不具合現象：MS-DOSのPRINT. EXEがメモリに常駐していると
スクリーンディバグは起動することが出来ません。

理由：スクリーンディバグが使用しているBIOSと、PRINT. EXE
が使用しているBIOSが、ぶつかっているため起動が出来ません。

対策：PRINT. EXEがメモリに常駐されている場合には、
PRINT_/Rにて、PRINT. EXEを解放してから起動させる
ようにして下さい。なお、スクリーンディバグ上のcommand.
com起動中での動作も同様です。

2 トレースの不正フレームについて

不具合現象：FB0H、FB1H、FB2Hに対するリードトレースが
正しくありません。

理由：ICE用CPUの仕様で、サポートできないため。

対策：なし

3 イベント検出について

不具合現象：スタック操作に対するイベントがかけられない。

理由：ICE用CPUの仕様で、サポートできないため。

対策：なし

4 カウンタの値に誤差が生じます。

不具合現象：CNT（時間計測コマンド）で実行結果が3～5CPUのCLK分
誤差が生じる。

理由：ICE用CPUの仕様で、サポートできないため。

対策：なし

5 アセンブラが正しくできません。

不具合現象：以下の命令で正しくアセンブラが出来ません。

```
MOV A, RBS
```

```
MOV A, MBS
```

理由：ASMIS上のアセンブラが正しい判断を行えないため。

対策：上の命令に関して以下のように入力して下さい。

```
MOV A, 82H
```

```
MOV A, 83H
```